

第6期まちづくり市民会議の提案に対する回答書

1 提案事業名

「関のいいところ再発見！」

提案1 昼間の観覧船を活用したツアーの実施や、様々な人や団体が昼間の鵜飼観覧船を活用できる仕組みを作ってください。

提案2 子どもたちの定期的な川遊びプログラムを実施してください。

2 提案に対する感想等（関連施策の現況、提案に対する共感事項など）

提案1 小瀬鵜飼は、夜だけの観光サービスとなっているため、遊休資産である観覧船を昼間に活用することは良い考えだと思います。

提案2 関市は、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や国の重要無形民俗文化財「長良川の鵜飼漁の技術」に係っていることから、関市民にとって長良川は生活に欠かすことのできない存在であることが分かります。

しかしながら、近年子どもたちは、川で遊び、魚を捕まえる体験から遠ざかっていると感じておりますので、川を活用したイベントなどを検討したいと思います。

3 提案の問題点（提案施策を実施するにあたり問題や支障となること）

提案1・2 ・採算がとれる事業としての運営方法の検討及び実施団体の決定
⇒関遊船株式会社のみでの事業実施は、スタッフの人数に限りがあるため困難。
まちづくり市民会議のメンバー等による協力があれば、事業実施は可能。

4 今後の方針（提案施策に対する担当課の考えや今後の方針）

・担当課からは、屋形船を管理・運営する【関遊船株式会社】に対し、市からの補助金等なしで自走できる事業などを提案したり、協働で企画します。（別紙企画書を参照）

また、事業者や一般のお客さんに船を貸し出す料金設定を話し合い、事業実施団体を公募するなど、昼間の船の利活用を新たな観光資源として考えていきたい。

第6期まちづくり市民会議の提案に対する回答書

1 提案事業名

「<インバウンド>外国人を迎える会」

- 提案1 民泊に興味のある市民へ、民泊に関する説明会を定期的を実施してください。また、民泊経験者も説明会に参加するような説明会を実施してください。
- 提案2 民泊の申請がしやすくなるよう、書類作成のサポート体制を作ってください。
- 提案3 民泊登録者のために、関市内外のイベントや観光情報を提供してください。
- 提案4 関市内の民泊を実施した市民がどこで実施しているか、また民泊の始め方を集めた事例を情報として集約・閲覧出来るようにしてください。

2 提案に対する感想等（関連施策の現況、提案に対する共感事項など）

- 提案1 関市内における宿泊施設は大変少なく、期間によっては、宿泊難民が発生する現状です。さらに、今後増え続けるインバウンド客を考慮する「民泊」は関市にとって有効な手法であると考えられるため、新たなホスト候補向けの説明会の開催を検討していきたい。
- 提案2 関市における住宅宿泊事業（民泊）の実施には、岐阜県知事への届出が必要であり、住宅宿泊事業者の監督責任についても岐阜県が行う法律となっております。民泊に係る相談窓口として、関保健所（生活衛生課）がございますので、こちらをご活用いただければと思います。
- 提案3 関市を訪れた方々には、ぜひ関市の魅力を感じていただくために、民泊提供者の皆さんとは、イベント情報を共有させていただきますし、観光パンフレットなどを提供したり、民泊提供者の皆さんに関市の魅力を直接するお伝えしながら連携していければと考えます。
- 提案4 新たに民泊の実施を検討している方々は、多くの心配や不安を抱えてると思います。すでに、関市内で民泊を実施している方々の実体験は、大きな励みとなり安心を与えられると考えられますので、民泊提供者の方々の協力のもと、情報を集約できるよう検討して参ります。

3 提案の問題点（提案施策を実施するにあたり問題や支障となること）

- ・事業費の確保及び関市内で民泊を実施する方々をつなぐコミュニティの構築

4 今後の方針（提案施策に対する担当課の考えや今後の方針）

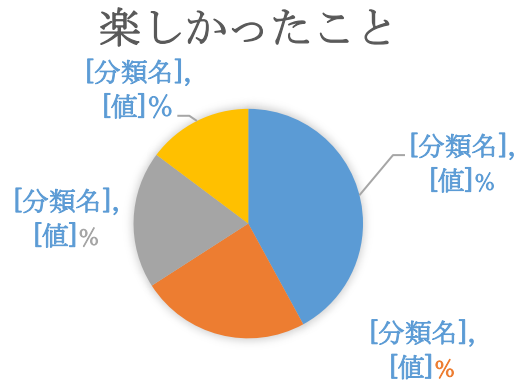
- ・関市内における新たな民泊提供者を増やすための説明会や講演会、民泊提供者とゲストを結びつける世界最大級のサイト『Airbnb』を活用した事業実施を検討していきます。
- ・民泊提供者同士がつながり、市と連携して民泊を推進できるよう、ネットワーク化を図っていきます。

家族で川遊びイベント『鵜飼船に乗って川で遊ぼう』 企画書

近年子どもたちは、川で遊び、魚を捕まえる体験から遠ざかっています。
第6期関市まちづくり市民会議「関のいいところ再発見！」チームは、関市の宝である“小瀬鵜飼”を知ってもらい、清流長良川の恩恵を感じてもらうために『鵜飼船に乗って川で遊ぼう』を6月16日に開催いたしました。

【実績報告】

- ・ イベント名：鵜飼船に乗って川で遊ぼう
- ・ 開催日時：平成30年6月16日（土）
9時00分～12時00分
- ・ 内容：鵜飼船の乗船、ウルル採り、
鵜匠のお話 など
- ・ 集合場所：鵜飼乗船場
- ・ 参加費：1,500円/組
- ・ 参加者：16組（35人）
- ・ 参加者満足度：100%



<今後の展開について>

関市として事業を行うのではなく、関遊船(株)がビジネスとして、上記事業を継続できると最も理想的である。

- ・ 開催日時：鵜飼シーズン（5月11日～10月15日）の土・日曜日 午前中
- ・ 内容：鵜飼船の乗船、川の生き物探し、鵜匠のお話&バックヤードツアー
- ・ 参加費：1,500円/人 ただし、保護者同伴の事
- ・ 定員：40名（大船貸切20名×2艘）

【事業費シュミレーション】

	区分	科目	単価	数	計	備考
収入	参加費	1,500円×40人	1,500円	40	60,000円	
	収入合計				60,000円	
	区分	科目	単価	数	計	備考
支出	レク保険	33円×40人	33円	40	1,320円	
	関遊船儲け				30,000円	
	船頭謝礼	5,000円×4人	5,000円	4	20,000円	
	鵜匠謝礼	5,000円×1人	5,000円	1	5,000円	陽一郎鵜匠
	備品	飲料水など			3,680円	熱中症予防
支出合計				60,000円		

第6期まちづくり市民会議の提案に対する回答書

1 提案事業名

チーム「関フレンズ」

提案1 ボランティアネットワークを行政が音頭をとって作ってください。

2 提案に対する感想等（関連施策の現況、提案に対する共感事項など）

現在、関市には、関市社会福祉協議会が実施するボランティアセンター、生涯学習課の生涯学習ボランティア、関市市民活動センターの3つの窓口が存在しております。それぞれの窓口を1つにすることは難しいですが、情報共有等を行い、ボランティア活動の支援を行っております。

提案にありました大学生のボランティア活動を行う団体については、行政側でも把握ができていないのが現状です。また、地域でのボランティアについては、イベント等の人手不足解消のためのボランティアといった形での募集が多く、プロジェクト型のボランティアの募集はほとんどありません。

学生のボランティア団体と地域をつなぐネットワークの構築は、市が直接的に構築することは難しいと考えますが、関市市民活動センターが主導となってネットワークの構築に努めることができると考えます。

3 提案の問題点（提案施策を実施するにあたり問題や支障となること）

大学生ボランティア団体の把握ができていない。

地域でプロジェクト型のボランティアの受け入れ体制が整っていない。

4 今後の方針（提案施策に対する担当課の考えや今後の方針）

提案のありましたボランティアネットワークの構築については、関市市民活動センターが主導となって実施します。

方法としては、市内の中部学院大学、岐阜医療科学大学へボランティア団体の調査を行い、それらを集め、情報交換会を開催します。また、地域としてもプロジェクト型ボランティアの受け入れ体制を整え、学生のボランティア団体と地域のマッチングを行います。

第6期まちづくり市民会議の提案に対する回答書

1 提案事業名

チーム「関フレンズ」

提案2 ボランティアの受け入れ側への研修やコーディネートを行ってください。

2 提案に対する感想等 (関連施策の現況、提案に対する共感事項など)

現状では、地域のボランティア活動といっても人足的なボランティアの募集が多く、プロジェクト型のボランティアの募集はほとんどありません。プロジェクト型のボランティアに参加した学生からは、責任感をもって活動できた、ボランティアの活動を通して地域の人々と繋がることのできたという声があり、今後の地域社会や学生にとっても必要な取組であると考えます。

地域としては、プロジェクト型ボランティアの受け入れ体制が整っていないので、受け入れ側にも研修を行うことが必要と考えます。

3 提案の問題点 (提案施策を実施するにあたり問題や支障となること)

プロジェクト型ボランティア活動が地域にあまり認知されていない。

4 今後の方針 (提案施策に対する担当課の考えや今後の方針)

市民活動センターが主導となって、地域でまちづくり活動を行う「地域委員会」を対象に、ボランティアの受け入れ側の研修会を開催します。先進事例として、岐阜市ではボランティアの受け入れ側の研修を実施していたり、三重県では「ピタゼミ」というゼミ型ボランティアと地域をマッチングする取組があります。これらを参考にし、研修会を実施し、地域でのボランティアの受け入れ体制を整えます。

その後、提案1で構築したネットワークを活用し、学生ボランティア団体と地域のマッチングを行います。

第6期まちづくり市民会議の提案に対する回答書

1 提案事業名

チーム「関フレンズ」

関市内のボランティア参加者へ「しあわせ循環ポイント」を付与してください。

2 提案に対する感想等（関連施策の現況、提案に対する共感事項など）

「しあわせ循環ポイント」は、健康づくりの増進等、心身の充実に向けた自発的な取り組みを促すとともに、地元での消費することのきっかけを生み出し、市内での消費循環と経済振興を図ることを目的とした制度です。そのため、健康づくりにつながる市のイベント等の参加者に対して、協同組合せき商連の会員企業が運営する「STAMP フ・フ・フ会」加盟店で使えるフ・フ・フポイントを付与しております。

3 提案の問題点（提案施策を実施するにあたり問題や支障となること）

「しあわせ循環ポイント」の対象は、市の事業（イベント、講座、施設利用等）に限られるため、ボランティア活動を担当する課で事業化する必要があります。

4 今後の方針（提案施策に対する担当課の考えや今後の方針）

提案にありましたボランティア参加者へ「しあわせ循環ポイント」を付与については、対象が市の事業（イベント、講座、施設利用等）に限られるため、ボランティア活動を担当する課で事業化する必要があります。提案1及び提案2の学生を対象としたボランティア活動を制度化した段階で、「しあわせ循環ポイント」の活用について、総合的に検討いたします。